



平成 30 年度の研究概要、公開授業、研究協議会日程についてお知らせいたします

## 1 研究主題と研究仮説について

### (1) 研究主題（文部科学省研究開発学校指定 第 4 年次）

#### 持続可能な社会を創造し、自己を確立できる生徒の育成

現在の日本では、地域間格差、少子高齢化、工業やサービス業における更なるロボットの導入など社会構造が著しく変化してきています。一方、世界では地球温暖化問題や国際紛争などの解決へ向け、各国の利害を越えた国際協調の必要性が一層求められています。今の子供たちは「持続可能な社会」になるかどうかの転換期に立たされる世代ということになります。グローバル化のさらなる加速によって今後新たに生じる難題に対しては、地域や国内、国外にも広く目を向け、多様な他者と共に協働していく視点なくして、解決は望めない状況にあるといえます。

このことを踏まえ、当校では「これからの社会に適応するだけでなく、これからの社会を創り上げる人材」、そして、様々な変化が起こる時代だからこそ、「人としての在り方を重視し、歩むべき正しい道を自ら切り拓く人材」の育成が急務であると捉えています。そこで、上記の研究主題を設定しました。

### (2) 研究仮説

「グローバル人材育成科」を新設し、各教科と両輪でアビリティを育成する教育課程を編成することで、「持続可能な社会を創造し、自己を確立できる生徒」を育むことができる

研究主題の生徒（人材）を「グローバル人材」と捉え、その生徒（人材）がもつ具体的な力、これからの社会で求められる資質・能力について、「持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて」日本ユネスコ国内委員会小委員会ESD特別分科会（2015年8月）、「教育課程企画特別部会論点整理」文部科学省（2015年8月）等において提唱されている資質・能力と、当校のこれまでの研究成果、本研究の研究主題との照合から、以下の6つに整理しました。

【情報統合力】：課題や目的に応じて、必要な情報を集め、まとめる力

【代替思考力】：課題の問題点や物事の本質を捉え直す力

【企画創造力】：周囲の状況や動向を予測しながら、みんなのためになる活動を創り出す力

【主体的実践力】：内容や活動を調整しながら率先して行動する力

【コミュニケーション力】：情報を受信したり、発信したりしながら、様々な考えや意見を認め合い、人やものとの関係を広げる力

【コラボレーション力】：異なる分野や目的をもった集団が協力して制作する力

当校では、これら6つの資質・能力をアビリティと名付け、研究主題にある「持続可能な社会を創造すること」「自己を確立すること」と「アビリティをあらゆる場面で発揮すること」を同義としました。そして、その姿に迫るためには、アビリティの育成を意図的、計画的に行う新教科「グローバル人材育成科」を創設し、新たな教育課程を編成することが有効であると考えました。

## 2 アビリティ育成の素地となる『スキル』について

グローバル人材育成科においてアビリティを育成するとともに、既存の各教科においてもアビリティ育成の視点をもって学習指導を行う教育課程の在り方について、実践的研究開発を行っています。

アビリティ育成の素地となる技能や能力、姿勢、態度を、当校では『スキル』と名付けました。「アビリティを育成すること」は「アビリティ育成の素地となる『スキル』を向上させること」であると捉え直し、それぞれの『スキル』の具体を設定することで、生徒が目指す姿を意識しやすいようにしました。

アビリティ	『スキル』	『スキル』の具体
情報統合力	情1 情報収集	調べる、記録する、取材する、問題点を把握する
	情2 情報整理	比較する、分類する、分析する、優先順位を付ける
代替思考力	代1 思考拡散	アイデアを出す、アレンジする、代案を出す
	代2 比較検討	視点を設定する、吟味する
	代3 思考収束	ひとつにまとめる、折り合いを付ける
企画創造力	企1 目標設定	ゴールをイメージする、不安要素を明らかにする
	企2 手段構築	役割分担する、日程調整する、計画を立てる
主体的実践力	主1 渉外調整	外部の人と目標・手段を共有する
	主2 準備試行	リハーサルする、試作する、シミュレーションする
	主3 役割遂行	自分の役割を果たす、進んで行動する
コミュニケーション力	コ1 相互理解	受容する、認め合う、互いの立場で目的を理解する
	コ2 即応思考	アドリブで対応する、相手の様子に応じて話す、相手を乗せる
	コ3 情報発信	要点を絞って説明する、よりの確に伝達する
	コ4 礼儀作法	時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする、謙虚に相手の話を聞く
コラボレーション力	コ1 協働創造	協力して新しいものを創り上げる
	コ2 互惠行動	行動して、互いの利益を生み出す

## 3 グローバル人材育成科について

グローバル人材育成科は、「課題討論の時間」「企画創造の時間」「グローバルコミュニケーションの時間」の3つの分野から成ります。それぞれに育成目標とするアビリティを配分し、トレーニングする場と実践する場（『スキル』を向上させるコンテンツの実践）に分けて『スキル』の向上を目指します。

まず、3年間で10のステージに分割し、各ステージに学びのテーマを設定しました。その上で、そこで生徒がどのようなアビリティを発揮していくか、そのために事前にどのような『スキル』を学んだらよいかを考慮して、授業内容を設計・配列しています。

分野	アビリティ	トレーニング（例）	コンテンツの実践（例）
課題討論の時間	情報統合力 代替思考力	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いルール、思考ツール [情1 情報収集] [代1 思考拡散] [代2 比較検討]</li> <li>ワールドカフェを活用したグループでの話し合い [情2 情報整理] [代1 思考拡散] [代3 思考収束]</li> </ul>	ステージ2：1年生6月～9月 テーマ：様々な仲間と臨機応変にかかわる ・ドキドキキャンプ①② [代1 思考拡散] [企2 手段構築] [コ2 即応思考]
企画創造の時間	企画創造力 主体的実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画会議 [企1 目標設定] [企2 手段構築] [主1 渉外調整]</li> <li>役割分担会議 [企2 手段構築] [主3 役割遂行]</li> </ul>	ステージ7：2年生12月～3月 テーマ：平和を考える ・修学旅行 [企1 目標設定] [コ1 相互理解] [コ2 互惠行動]
グローバルコミュニケーションの時間	コミュニケーション力 コラボレーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語表現、場に応じた言葉遣い、ビジネスマナー [コ2 即応思考] [コ4 礼儀作法]</li> <li>紹介スピーチ [コ1 相互理解] [コ2 即応思考] [コ3 情報発信]</li> </ul>	ステージ9：3年生8月～12月 テーマ：「祭り」をつくる② ・文化祭 [主2 準備試行] [主3 役割遂行] [コ1 協働創造]

#### 4 各教科について

各教科では、これまでの学習活動とその手立てを『スキル』の向上を視点として見直し、授業改善に取り組んでいます。『スキル』の向上、つまり汎用的な能力であるアビリティ育成を目指すことで、より一層教科本来のねらいに迫ることができるという捉えです。具体的には、学習活動において生徒が『スキル』を発揮している姿を教師が設定し、その姿に迫るための手立てを併せて設定しています。視点を変えた新たな姿と手立てを設定することで、『スキル』向上により具体的に働き掛けるというものです。

**各教科の授業を、下記の日程で上越地区の先生方、保護者の皆様に公開します。**  
**授業時間は、【1限 8:35～9:25】【2限 9:35～10:25】【3限 10:35～11:25】**  
**【4限 11:35～12:25】【5限 14:00～14:50】【6限 15:00～15:50】です。**  
**事前の参観申込は必要ありません。当校第2特別棟玄関からお入りください。**  
**※5月1日の理科主任研修会でお知らせしたとおり、理科の公開は6月1日に終了しました。**

<b>国語</b> 7月2日(月)5限 倉又 佳宏	1年2組「銀木犀の花言葉 ～対役の検討から、物語の主題にせまる～」 『星の花が降るころに』を題材に、登場人物が作品の中で果たしている役割について議論を重ね、見いだした視点を手掛かりに、作品の主題に迫ります。
<b>社会</b> 6月20日(水)3限 佐藤 勝久	1年1組「歴史上の人物から考える時代区分 ～独自の視点で「100時代」と名付けよう～」 小学校で学習してきた歴史上の人物や時代の特徴が分かる絵画資料などを基にして、生徒オリジナルの時代区分を考えていきます。
<b>数学</b> 6月22日(金)3限 青柳 潤	2年1組「ベストクルーを決めよう ～ポテト重量の散らばりを調べる～」 5人のクルーが作ったフライドポテトの重量を表すデータから、5人の技能を順位付けする活動を通し、箱ひげ図を用いて傾向を読み取る力を育成します。
<b>理科</b> <sup>*</sup> 6月1日(金)5限 大崎 貢	1年3組「自然環境のミカタ！ ～土壌の生物を紹介するパンフレットをつくらう～」 校庭や土壘周辺の動植物を調査し、その成果を校内や地域へ発信する活動を通して、生徒が発見した生物の共通点と相違点に関する課題を追究していきます。
<b>音楽</b> 6月22日(金)3限 入村 文子	1年3組「ソネットを手掛かりに曲想を予想しよう ～作曲者が取り入れた音楽の要素は何か～」 ソネットを手掛かりに、作曲者がどのようにソネットの内容と音楽の諸要素とを関連させたか予想することを通して、考えながら鑑賞し音楽のよさを感じていきます。
<b>美術</b> 6月19日(火)6限 寺田 寛	1年2組「あなたのために包みましょう ～紙の特徴や性質を生かして～」 包むという行為を視点に、生徒にとって身近な材料である紙に実際に触れながら性質や特徴を捉え、その生かし方を考えていきます。
<b>保健体育</b> 6月22日(金)3限 金子 秀史	2年2組「3Dサッカー ～Drone! Discovery! Discussion! 様々な角度から動きを分析し、攻撃方法を探ろう～」 チームで立てた戦術に対して、兄弟チームがアドバイスを送り、戦術を練り直してゲームに臨みます。ハーフタイムの『Coaching』場面がポイントです。
<b>技術</b> 6月22日(金)5限 市村 尚史	2年2組「“今”だからほしい明かりとは ～非常時に使う照明器具の製作～」 非常時の一場面を想定し、そこで使用するための照明器具をグループで仮製作します。話し合いでは、作業工程や役割分担を自分たちで決めます。
<b>家庭</b> 6月27日(水)3限 渡辺 元子	2年3組「ベジタブルどう食べる？ ～野菜の調理から食事の役割を考える～」 健康維持、心的満足、人との交流、文化伝承などの食事の役割を、野菜の調理を通して追究します。
<b>英語</b> 7月5日(木)2限 猪股 大輔	3年2組「Interviewing with your friends ～仲間の魅力的な情報を引き出そう～」 インタビュー番組作成の経験を生かして、仲間同士での即興的なインタビューをします。仲間の知らなかった魅力的な一面の発見に挑戦します。
<b>道徳</b> 6月22日(金)2限 岩野 学	2年3組「義足のスーパーアスリート ～真のノーマライゼーションをめぐる議論しよう～」 義足のランナーが健常者の記録を超えたとき、これまでになかった葛藤が生じる。果たして、障がい者と健常者は同じ舞台上で競い合うことができるのか？

## 5 教育研究協議会について

### 平成 30 年度 教育研究協議会

期 日：平成 30 年 10 月 24 日(水) 9:30~16:40

内 容：全体会（研究概要説明）、公開授業（各教科、グローバル人材育成科）、  
教科等協議会、講演会

講演会：多田孝志様（金沢学院大学教授）

石井英真様（京都大学大学院教育学研究科准教授）

### 上越教育大学附属中学校へのアクセス

#### <附属中学校への順路>

- ◆妙高はねうまライン「高田駅」から、徒歩 15 分。
- ◆妙高はねうまライン「高田駅」から、タクシーで約 5 分。
- ◆信越本線「直江津駅」から、タクシーで約 20 分。



#### <ランドマークの説明>

- 1 通路が細くなっております。交互通行にご注意ください。
- 2 車でお越しの際は、こちらにご駐車ください。
- 3 地域振興局側からの出入はできませんので、ご注意ください。



所在地：〒943-0835 新潟県上越市本城町 6-2

電 話：025-523-5313

F A X：025-523-3594

E-mail：kenkyujh@juen.ac.jp

担 当：研究主任 上坂 知大  
こうさか ともひろ